

IBM Application Integration Suite on Cloud

本「サービス記述書」は IBM がお客様に提供する「クラウド・サービス」について規定するものです。お客様とは、会社、その許可ユーザーおよび「クラウド・サービス」の受領者を意味します。適用される「見積書」および「証書 (PoE)」は、別途「取引文書」として提供されます。

1. クラウド・サービス

IBM Application Integration Suite on Cloud (AISoC) は、マルチテナント・サービスのクラウド・ベース・スイートです。このオフリングでは、以下の主機能を組み合わせるソリューションを提供します。

- IBM Integration Bus on Cloud – 統合ランタイム・コンテナ
- IBM App Connect Professional on Cloud – ビジネス・ユーザー・ツールおよびコネクタ環境
- IBM API Connect Professional on Bluemix – API 管理サービス

1.1 IBM Application Integration Suite on Cloud のレベル 1、レベル 2、レベル 3

「クラウド・サービス」は、お客様に以下の主機能を提供する、事前構成された 3 つの環境の中から選んだ環境と共に提供されます。

主機能	レベル 1	レベル 2	レベル 3
統合ランタイム・コンテナ	1 つの仮想プロセッサ・コア、8 GB メモリー	2 つの仮想プロセッサ・コア、16 GB メモリー	3 つの仮想プロセッサ・コア、24 GB メモリー
コネクタ環境および「ビジネス・ユーザー・ツール」	無制限のエンドポイント、無制限のユーザー (合計で 20,000 件のアクションまたは 100 時間付き)	無制限のエンドポイント、無制限のユーザー (合計で 50,000 件のアクションまたは 250 時間付き)	無制限のエンドポイント、無制限のユーザー (合計で 100,000 件のアクションまたは 500 時間付き)
1 か月あたりの管理対象 API 呼び出し	350,000	700,000	1,050,000
機能	すべて	すべて	すべて
サポート	含まれる	含まれる	含まれる

IBM クラウドでホストされる「スイート」では、以下を行うために各「レベル」で同じ豊富な機能を提供します。

- シームレスなハイブリッド統合のためにクラウド・アプリケーションとオンプレミス・アプリケーションを安全に接続します。
- 豊富なコネクタおよび統合テンプレートを使用して統合を作成します。
- マイクロサービスを作成して、API として公開します。

1.2 IBM Application Integration Suite on Cloud – per Virtual Processor Core

これは、「仮想プロセッサ・コア」の課金単位に基づいて資格が付与される上記「レベル 1」と同じ主機能が提供されます。

1.3 IBM Application Integration Suite Hybrid Entitlement

Application Integration Suite Hybrid オフリングの使用許諾により、お客様は、クラウドを介して「クラウド・サービス」オフリングを使用する、またはオンプレミスでソフトウェア (すなわち「IBM プログラム」) をインストールすることができます。この使用許諾に含まれる「IBM プログラム」は、IBM Application Integration Suite です。

お客様は、「クラウド・サービス」のサブスクリプションを継続している限り、「IBM プログラム」を使用、テクニカル・サポートおよび「IBM プログラム」アップグレードへアクセスできます。

1.4 スイート・コンポーネントのフィーチャーおよび主機能

1.4.1 「統合ランタイム・コンテナー」(IBM Integration Bus on Cloud を採用)

IBM Integration Bus on Cloud サービスはマルチテナントのクラウド・ベース・サービスで、これを使用することによりユーザーは、IBM Integration Toolkit を使用して開発された統合ソリューションを、コンテナーに導入することができます。

このオフリングでは、以下を可能にするソリューションを提供します。

- 統合ソリューションの導入
- 導入された統合ソリューションのモニタリング

コンテナーを使用すると、お客様は、アプリケーションとそのすべての依存関係をパッケージにして、ソフトウェア開発用の標準化ユニットを作ることができます。コンテナーには、ランタイム、システム・ツールやライブラリーなど、お客様が統合ソリューションを導入できるようにするのに必要なすべてのコンポーネントが含まれます。コンテナーにはさまざまなサイズ (例: 4GB) が用意されています。このサイズは、コンテナーが IBM Softlayer データセンターでアクセスできるメモリー量を表しています。

お客様が「クラウド・サービス」を始められるように、サンプルの統合ソリューションが提供されています。これらのサンプルは単なる参考用ですので、実稼働目的では使用しないでください。

1.4.2 「コネクタ環境およびビジネス・ユーザー・ツール」(IBM App Connect Professional を採用)

IBM App Connect Professional on Cloud は、マルチ・テナントのクラウド・ベース・サービスで、クラウドとオンプレミス・アプリケーションを統合するツールおよびリソースを提供します。それには、ビジネス・ユーザーがアプリケーションを接続するシンプルな統合フローを構築するためのツールが含まれます。

Application Integration Suite on Cloud の各レベルには、コネクタ環境およびビジネス・ユーザー・ツールの使用のために 1 か月あたりで定義された数の「アクション」が含まれます。

「アクション」は、お客様の代わりに行う「フロー」の起動です。これには、お客様が直接起動するものや、トリガー・イベントに自動的に反応して実行されるものがあります。「フロー」が実行されるごとに、1 つの「アクション」とみなされます。実行中の「フロー」のみが「アクション」としてカウントされます。「フロー」が導入されているだけで、実行されていない場合は、「アクション」はカウントされません。たとえば、「ポイント A」から「ポイント B」への「フロー」の場合、この「フロー」が呼び出されるごとに 1 回の「アクション」としてカウントされます。お客様が申し込みをしたオフリングに基づき、お客様に使用許諾された範囲の利用を超える各「アクション」について、「アイテム」の超過料金を査定します。

1.4.3 「API 管理サービス」(IBM API Connect Professional on Bluemix を採用)

IBM API Connect on Bluemix によって企業は API を採用したデジタル変革およびマイクロサービスを促進させることができます。API の作成の自動化、システム・オブ・レコードのシンプルなディスカバリー、内部開発者および第三者開発者のセルフサービス・アクセス、ならびに組み込みのセキュリティーおよびガバナンスを有効化します。「API 呼び出し」は、プログラマブル・インターフェースによる API 管理サービスの呼び出しです。

アプリケーションおよびサービスを構築、実行、管理するための IBM のオープン・スタンダード・クラウド・プラットフォームである IBM Bluemix は、「クラウド・サービス」の技術上の前提条件です。新規ユーザーは、オンライン登録フォーム (<https://console.ng.bluemix.net/registration>) によりアクセス登録ができます。

2. セキュリティーの内容

本「クラウド・サービス」は、IBM の「IBM SaaS」に関する「Data Security and Privacy Principles」(<http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/sla/dsp> で入手可能) および本セクションの追加条件に従うものとします。IBM の「Data Security and Privacy Principles」が変更される場合であっても、それにより「クラウド・サービス」のセキュリティーのレベルが低下することはありません。

お客様は、IBM によって提供される「クラウド・サービス」のアクセス・ポイントへの安全な接続を提供する責任があります。オンプレミスでの安全な接続および「クラウド・サービス」のクラウド・エン

ドポイントについての情報は、製品資料をご覧ください。安全な接続を設定する際には、推奨される手順を確認し、これらに従うことをお勧めいたします。

保護対象のデータの処理およびデータの特性により提示されるリスクに対して技術的および組織上のセキュリティ対策が適切であると、お客様がデータ管理者として判断する場合には、本「クラウド・サービス」を使用して、個人データが含まれるコンテンツを処理することができます。お客様は、本「クラウド・サービス」ではセンシティブ個人データや追加の規制要件の対象となるデータを保護するための機能が提供されないことを認識しています。お客様は、IBM がコンテンツに含まれているデータのタイプを把握していないこと、および「クラウド・サービス」の適合性や適用中のセキュリティ保護に関して評価を行えないことに同意します。

3. サービス・レベル・アグリーメント

IBM は、「PoE」に記載するとおり、「クラウド・サービス」に関して、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント(以下「SLA」といいます。)を提供します。「SLA」は保証ではありません。

「SLA」はお客様にのみ提供され、実稼働環境における使用に対してのみ適用されます。

3.1 可用性クレジット

お客様は、「クラウド・サービス」の可用性に影響を及ぼした事象について最初に知り得たときから 24 時間以内に、IBM テクニカル・サポート・ヘルプデスクに対して「重要度 1」のサポート・チケットを記録するものとします。お客様は、あらゆる問題診断および解決に関して IBM を合理的な範囲で支援するものとします。

「SLA」の未達を申告するサポート・チケットは、契約月の末日から 3 営業日以内に提出するものとします。有効な「SLA」の申告に対する補償は、「クラウド・サービス」の実稼働システム処理が利用できない時間(以下「ダウンタイム」といいます。)に基づいた「クラウド・サービス」の将来の請求に対するクレジットになります。「ダウンタイム」は、お客様が当該事象を報告した時点から「クラウド・サービス」が復元される時点までの間で計測され、次のものに関連する時間は含まれません。保守のための計画停止または発表された停止、IBM の支配の及ばない原因、お客様または第三者のコンテンツもしくはテクノロジーの問題または設計もしくは指示、サポート対象外のシステム構成およびプラットフォームまたはその他お客様による誤り、またはお客様に起因するセキュリティに関する事故もしくはお客様によるセキュリティ・テスト。IBM は、下表のとおり、各契約月における「クラウド・サービス」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。各契約月の補償の合計額は、「クラウド・サービス」に対して支払われた年額料金の 12 分の 1 の 5% を超えることはできません。

バンドルされた「クラウド・サービス」の場合(個別の「クラウド・サービス」オファリングをパッケージ化し、単一オファリングとして、単一の合算料金で販売しているもの)、補償は、バンドルされた「クラウド・サービス」に対する 1 つにまとめられた月額料金に基づいて計算されるものであり、各個別「クラウド・サービス」に対する月額サブスクリプション料金に基づいて計算されるものではありません。お客様は、1 つの個別「クラウド・サービス」に関する請求のみ、一度にまとめて提出することができます。

3.2 サービス・レベル

「契約月」における「クラウド・サービス」の可用性

「契約月」における可用性	補償 (申告の対象である「契約月」における 「月額サブスクリプション料金」*の割合)
< 99.5%	2%
< 99.0%	5%

*「クラウド・サービス」が IBM ビジネス・パートナーから取得されたものである場合、月額サブスクリプション料金は、申告の対象である「契約月」に対して有効な「クラウド・サービス」のその時点での最新の表示価格に基づいて計算され、それを 50% 割引した額となります。IBM は、直接お客様に払い戻します。

「可用性」は、以下のとおり算出されます。契約月における分単位の総時間数から、契約月における「ダウンタイム」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。

例:「契約月」における「ダウンタイム」が合計 500 分である場合

30 日の「契約月」における合計 43,200 分 - 予定外の「ダウンタイム」500 分 = 42,700 分	= 「契約月」における 98.8% の可用性につき 5% の「可用性クレジット」
<hr style="width: 50%; margin: 0 auto;"/> 合計 43,200 分	

4. 除外事項

お客様により App Connect Designer で開発された「IBM App Connect Professional アクション」の可用性は、お客様が直接起動するのか、トリガー・イベントに反応して自動実行されるのかに関係なく、SLA の可用性クレジットの対象にはなりません。

5. テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」のテクニカル・サポートは、電子メール、オンライン・フォーラム、およびオンライン問題報告システムを介して提供されます。さらに、お客様には、以下に定める目標応答時間でチケット制のテクニカル・サポートが提供されます。テクニカル・サポートは「クラウド・サービス」の一部として提供されるものであり、別個のアドオン・オファリングとして提供されるものではありません。

IBM は、テクニカル・サポートの連絡先情報ならびにその他情報およびプロセスを規定する IBM Software as a Service Support Handbook を提供します。

重要度	重要度の定義	サポート時間内の 目標応答時間
1	重大な事業影響/サービス・ダウン 事業上の重要な機能が作動不能である、または重要なインターフェースが機能しない状態。これは通常実稼働環境に適用され、サービスにアクセスできないことによって業務に重大な影響が生じることを示します。この状況は、即時に解決する必要があります。	2 営業時間以内
2	著しい事業影響 利用中にサービスのフィーチャーまたは機能が著しく制限されているか、お客様が事業の最終期限に間に合わない危険にさらされている状態。	2 営業時間以内 (月曜から金曜の 営業時間)
3	軽度の事業影響 サービスまたは機能を使用することができ、業務に重大な影響が表れていないことを示す。	4 営業時間以内 (月曜から金曜の 営業時間)
4	最小の事業影響 問い合わせまたは非技術的な依頼。	1 営業日以内 (月曜から金曜の 営業時間)

6. エンタイトルメントおよび課金情報

6.1 課金単位

「クラウド・サービス」は、「取引文書」に記載された以下の課金単位に従って販売されます。

- a. **「インスタンス」**は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「インスタンス」とは、「クラウド・サービス」の特定の構成へのアクセスを意味します。お客様の「証書 (PoE)」または「取引文書」に定める課金期間中にアクセスおよび使用することが可能な「クラウド・サービス」の「インスタンス」ごとに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。
- b. **「アイテム」**は、「クラウド・サービス」の超過分を請求する際の課金単位です。「アイテム」とは、「IBM SaaS」が処理、管理する、または「クラウド・サービス」の利用に関連する特定のアイテムが1回発生することをいいます。本「クラウド・サービス」のビジネス・ユーザー・ツールおよびコネクタ環境において、「アイテム」は「アクション」です。
- c. **「仮想プロセッサ・コア」**は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「物理サーバー」とは、処理装置、メモリーおよび入出力機能から構成され、1人または複数のユーザー、あるいは1つまたは複数のクライアント・デバイスが要求するプロシージャ、コマンド、またはアプリケーションを実行する物理コンピューターのことです。ラック、ブレード格納装置またはその他の類似装置が使用されている場合、必要なコンポーネントを持つ分離可能な物理デバイス (例えば、ブレードまたはラック・マウント・デバイス) については、それ自体が別個の「物理サーバー」とみなされます。「仮想サーバー」は、「物理サーバー」で使用可能なリソースをパーティション化することで作成される仮想コンピューター、またはパーティション化されていない「物理サーバー」のいずれかになります。「プロセッサ・コア」(通常、プロセッサまたはCPUと呼ばれます)は、コンピューティング・デバイス内の命令を解釈し、実行する機能ユニットです。「プロセッサ・コア」は、少なくとも1つの命令制御装置、および1つまたはそれ以上の演算ユニットまたは論理ユニットで構成されます。「仮想プロセッサ・コア」は、パーティション化されていない「物理サーバー」内の「プロセッサ・コア」、または「仮想サーバー」に割り当てられた仮想コアをいいます。お客様の「証書」または「取引文書」に定める課金期間中に「クラウド・サービス」に対して提供される各「仮想プロセッサ・コア」につき十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。

6.2 1か月に満たない期間の料金

「取引文書」に記載された1か月に満たない期間の料金は、按分にて算定される場合があります。

6.3 超過料金

課金期間中の「クラウド・サービス」の実際の利用が、「PoE」に記載されたエンタイトルメントの範囲を超える場合には、お客様は、「クラウド・サービス」の「取引文書」の記載に従い、その超過分について請求されます。

特定月における利用が、AISoCのIBM App Connect Professionalコンポーネントに含まれる「アクション」について使用許諾された使用を超過した場合には、「取引文書」に記載された料率で1,000の「アイテム」ごとの超過に対してお客様に請求されます。

お客様が、「クラウド・サービス」の利用可能な資格のある「レベル」に対して記載されたAPI Connect Professional on Bluemixについての1か月当たりの管理対象API呼び出しの最大数を越えた場合、お客様は記載された料率で超過料金を請求されます。超過料金の詳細は、お客様のIBM営業担当者から要求される場合があります。

6.4 検証

お客様は、i) IBM およびその独立監査人がお客様の本契約の遵守状況を確認するために合理的に必要となる記録、システム・ツールからの出力を維持し、要求に応じて提供し、お客様の施設にアクセスさせ、ならびに ii) 必要となるエンタイトルメントを、IBMのその時点で最新の料金ですみやかに注文して支払うほか、当該確認の結果として決定されるその他の料金および債務を、IBMが請求書に記載するとおりを支払うものとします。これらの遵守状況検証義務は、該当する「クラウド・サービス」の有効期間中、およびその後の2年間有効に存続します。

7. 期間および更新オプション

「クラウド・サービス」の期間は、「PoE」に記述されるとおり、「クラウド・サービス」へのお客様のアクセスについて、IBM がお客様に通知した日に開始します。「PoE」には、「クラウド・サービス」が自動的に更新されるか、継続利用ベースで続行されるか、期間満了時に終了するかが記載されます。

自動更新の場合には、お客様が期間満了日の少なくとも 90 日前までに書面により更新しないことを通知する場合を除き、「クラウド・サービス」は、「PoE」に定める期間につき自動更新されます。

継続利用の場合は、「クラウド・サービス」は、お客様が 90 日前までに書面により終了を通知するまで、月単位で継続利用することができます。「クラウド・サービス」は、かかる 90 日の期間後の暦月末日まで引き続き利用することができます。

8. イネープリング・ソフトウェア

本「クラウド・サービス」には、「クラウド・サービス」期間にわたって、「クラウド・サービス」のお客様による使用に関連してのみ使用することのできるイネープリング・ソフトウェアが含まれます。

a. IBM Integration Bus on Cloud Component イネープリング・ソフトウェア

- Integration Toolkit は、Developer Edition of IBM Integration Bus をダウンロードすることによりアクセスできます。

b. IBM App Connect Professional Component イネープリング・ソフトウェア:

- Secure Connector は、「クラウド・サービス」とファイアウォールの後に位置するエンドポイント間のデータ転送にセキュリティ対策を提供するオプションのコンポーネントです。
- Integration Studio は、ユーザーがオフラインで統合プロジェクトを設計、テストし、「クラウド・サービス」にこれを公開することを可能にするオプションのコンポーネントです。

9. 追加条件

9.1 共通事項

お客様は、IBM が広報活動またはマーケティングのコミュニケーションにおいて、お客様を「クラウド・サービス」の利用者として公に言及できることに同意します。

9.2 第三者の Web サイトまたはその他のサービスへのリンク

「クラウド・サービス」は、第三者のデータ・サービス、データベース、Web サービス、ソフトウェア、またはその他の第三者コンテンツ (以下総称して「コンテンツ」といいます。) へのリンクを含めること、またはそれらの「コンテンツ」にアクセスするために使用することができます。このコンテンツへのアクセスは、特定物として「現状有姿」で提供され、権原の保証、第三者の権利の非侵害または非抵触、ならびに商品性および特定目的適合性に関する黙示の保証を含むがこれに限らない、明示もしくは黙示のいかなる保証もされません。アクセスは、関連する第三者の単独の裁量により、いつでも終了させることができます。お客様は、かかるコンテンツにアクセスし、またはこれを使用するために、第三者と別途契約を締結するよう求められる場合があります。IBM はかかる別途締結された契約の当事者ではありませんが、お客様は IBM に対し、「クラウド・サービス」の一部としてかかるアクセスを提供することを許可します。本契約の条件として、お客様はかかる別途締結された契約の契約条件に従うことに同意することを明示します。特定のエンドポイント・アプリケーションには、アプリケーション・プロバイダーが課す使用制限が適用される場合があります。これは、アプリケーションに対して関連する「クラウド・サービス」の月次制限を超える許可コールの数の低減につながる可能性があります。